

ふ き た さ と 吹田の郷

◆ 発行/すいた市民環境会議 ◆ 代表/小田忠文 ◆ 事務局/☎564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-319-0630 小田 (午後6時以降)
◆ 年会費/個人会員1000円 法人会員10000円 ◆ 振り込み先/00980-28845 すいた市民環境会議



環境配慮指針(マニュアル)を私たちが考えましょう

1998年8月、吹田市は『環境基本条例』に基づく『環境基本計画』を策定しました。吹田市環境基本計画はこれからの私たち自身、そして未来を生きる子どもたちにかかわる“吹田市の環境”に関する20年間の計画です。

この計画を実行するためにはもっと詳しい、実行しやすい目安が必要です。その目安として行政は「配慮指針」をつくる予定です。

しかし、市内に生活する市民自身の考えが盛り込まれて初めて、
実行しやすい現実的な「配慮指針」になると思います。

そこで、すいた市民環境会議は、多くの市民がかかわって
「市民が考える環境配慮指針」を作ってみるとどうなるかと考えました。
いろいろな人が集まることで違う視点でものを見、考えられるようになります。

皆さん、一緒にわいわいと、楽しく、「環境配慮指針」を考えましょう。

市民が環境配慮指針を考える会

日時 11月28日(土) 19:00~21:00
場所 吹田市民会館



幹事会 /市民会館にて
12月19日(土)pm1:30~
1月16日(土)pm1:30~
お気軽にご参加ください

吹田商工会議所 50周年記念

環境シンポジウム基調講演 (H.10.9.26 13:00～ メイシアターにて)

『持続可能社会と企業行動』 経済評論家 内橋 克人

・環境に配慮した社会を形成するためには全ての人が「環境知性」を高めなければならない。これからは企業も消費者も行政も環境に対する理念が必要。

●第1次産業革命

産業革命とは手工業から機械工業への産業技術への変革。1760年代イギリスの繊維工業部門に始まり、1830年代以降欧米各国に波及。その結果生産量は飛躍的に増大し、工場制と資本主義が確立した。

1. トイレなきマンション
2. 資源は無限を前提
3. 企業が負担すべきコストを社会に転嫁
4. 大量消費社会（膨張大量生産）＝膨張大量消費

●第2次産業革命 21世紀から

1. 如何にモノを作らないか、という思想に基づいてモノを作る。
 - ・何代にも亘って使えるような家具
 - ・CPUを取り替えれば再使用できるようなコンピュータなど。
2. 企業間の競争は限界にきた
 - ・製品の人件費はコストの5%ぐらい。時計などは3%ぐらいだから合理化しても価格の影響力は小さい。
 - ・廃棄物を原料とする企業集団（コンビナート＝コ・ソーシャル）をつくる。
ゼロ・ミッション＝産業連鎖
3. 社会的消費者＝消費者の熟成
 - ・消費者は何故安いのかを考える。
商店街は地域社会を形成している。大型スーパーはそれを破壊してきた。
盛岡市の例 商店街 4,500店 で売り場面積 15万㎡
進出大型店 3店 で売り場面積 18万㎡
4. 生産条件よりも生存条件を優先する
 - ・生存条件がマイナスになるような生産条件は採用しない。
例：フロン…半導体の洗浄と乾燥を同時に行う。オゾン層を破壊。

まとめ ・これからの企業は本当のモノ作りに専心し、企業の利益と社会の利益が同心円になるようにしなければならない。
・消費者も生活のあり方をレベルアップし、自発的に簡素な生活を心がける。品質は高く、量は少なく。

市民向け自然環境講座 開講

第一回環境講座／10月20日(火) 10:00～15:00 千里北公園

「吹田市で見られる昆虫」講師 八木 剛(兵庫県人と自然の博物館研究員)

昆虫少年だった私にとって、楽しみにしていた講座

 小室 巧

今にも雨が降り出しそうな肌寒い日でしたが、はりきって参加させていただきました。

千里北公園・野外活動センターの会場には40代以上の女性がほとんどで、男性は2名だけ講師の八木剛先生は「兵庫県・人と自然の博物館」研究員で、20代の若くてハンサムでユーモアたっぷりの先生でした。そして彼もまた幼い時から虫採りばかりしていた昆虫少年だったと聞いて、とても親近感を覚えた。

午前中は屋内で、各自がチョウ・コガネムシ・ハチ・ハエの絵をかき、昆虫とはどんなものかをしっかり学んだ。

虫・・・外骨格である／血管はない／気管が体中に発達／体は頭・胸・腹と3つに分かれる
足は胸から6本／翅は4枚or2枚

翅や口などの体の特徴によって分類、多くの種がいてしっかり見分ける必要がある。そして生物の多様性とは、環境も多様でなくてはならない、このことはよく頭にたたきこんでおかないと、ついつい人間本意の環境を考えがちだと反省した。また「子供が自由に虫採りができるフィールドがなくなっている」という話は、私もいつも思っていたことで、私自身これからのテーマにしたいと思った。

午後からは外でバッタの運動会。サッカー選手になる虫採り！

チカラシバの種をくつ下にいっぱいつけながら草むらをかき分けバッタを捜すが、なかなか見つからず苦戦。女の人達が、ひっしに虫採りをしているのを見て“日本の将来は明るい”となぜか思った。つかまえた虫たちの名前とオス・メスを調べ、種類ごとにジャンプ力を競う、私たち4班のバッタくん、バッタちゃんたちがガンバリ優勝した。バッタも喜んで草むらへ帰って行った。(人間本意なのは……)

この日出会った虫＝オンブバッタ／ショウリョウバッタモドキ／クルマバッタモドキ

マダラバッタ／イボバッタ／ツチイナゴ／コバネイナゴ／ヒシバッタ

オオカマキリ／チョウセンカマキリ／マツムシ／クビキリギス

オナガササキリ／ホシササキリ／ツユムシ／クサキリ／エンマコオロギ

ツツジサセコオロギ などでした。

こんなに楽しい講座をみんなに教えてあげたい。最後に参加者どうしのコミュニケーションの時間がもう少しほしいと感じました。

《 お女郎稻荷のアラカシ 》

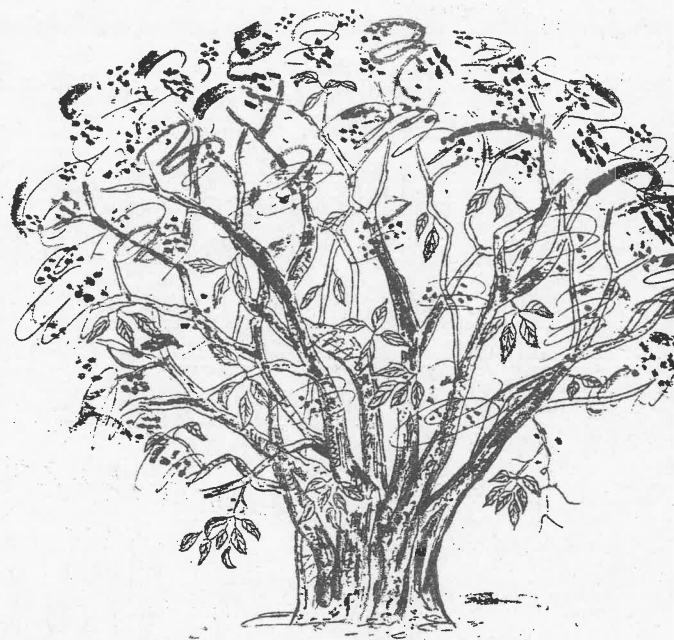
旧“吹田の渡し”から少し北に入った所に、可愛い赤い鳥居の立ち並ぶ「神通力を得た狐・茶枳尼天(だきにてん)」をまつる小さな祠があり、この祠を守護するかの様に四方に枝を広げたアラカシの古木が(株立ち7本)根を下ろしている。

吹田に自生するカシの木の大部分を占めるこの木は、その名の通り枝葉も大きく堅く、粗々しい感じながらその実(ドングリ)は野鳥たちの大切な食料源。

葉は革質で固く、裏面は粉白色、上部の縁に粗ききょ歯のあるのも特徴で西日本に多く分布する。

◆樹高 14.0m

◆幹回り 6.54m



浅田 都司男



市民向け自然環境講座 開講



第二回環境講座／11月 5日(木) 10:00～15:00 吹田市立博物館・紫金山公園

「身近な樹木と野草」講師 菅井 啓之(大阪教育大学附属池田小学校教諭)

身近な自然を通して自然に思いを向ける



佐藤 和子

「丸太でジュースが飲めるか」から始まったこの講座は、小学校5年生、6年生を教えていらっしゃる菅井先生の実験を交えての、わかりやすく、楽しい講座でした。

自然の多様性とは・・・窓越しのただの「木」、木肌・葉の色など同じものがないという違いが見えてきた、また、サクラの花びら一枚一枚の筋が全部違うこと、“春になったら確認してみよう”と思いました。

午後からは紫金山公園を散策、自然と出会いながら『知る』感動の一時でした。

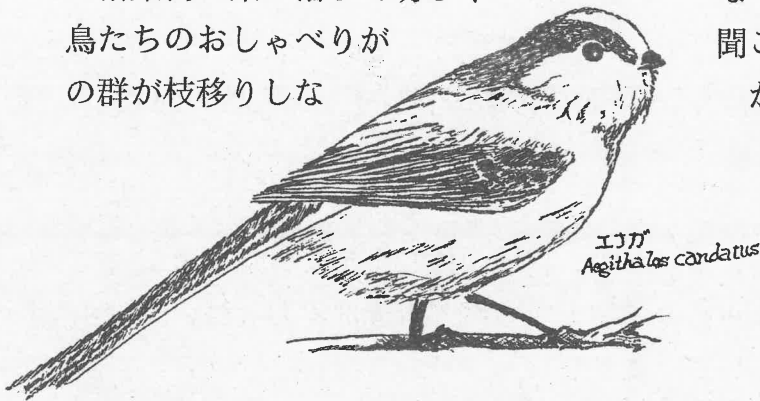
“薔薇ノ木ニ 薔薇ノ花サク。ナニゴトノ不思議ナケレド。”(北原 白秋)

『あたりまえ』が『おもしろい』と感じ始めたときに自然環境が見えてくる。参加者がコミュニケーションをとれる時間があつたらと思いました。

《 吹田市の鳥 no. 6 》

エナガ「柄長」(エナガ科)

落葉樹の葉が落ちて明るく
鳥たちのおしゃべりが
の群が枝移りしな



なった初冬の雑木林で「ジュリ・ジュリ」と小
聞こえ始める時、じっと待っていると小鳥たち
がらずいて来て周りを取り囲み、木の幹を
つついたり、枯れ葉の裏側を調べたりしな
がら虫を探している。

どの鳥かが「ツィー」と合図をすると、
いつの間にかいなくなってしまう鳥の群
は「カラの混群」と呼ばれているエナガ・
シジュウカラを中心とする小鳥の集団で、

この群の先頭にたって動くのが、ヒシャクの柄のように尾が長いことから名付けられた、小
鳥・エナガである。

吹田市内の公園や神社など見近な林に住んでおり、観察しやすい小鳥なので、ポケットに
カイロを忍ばせ近くの公園に出かけ、小さな体に長い尾を振りひらひらと飛ぶエナガを観察
しませんか。体の中がほんのりと暖かくなり、初冬の寒さを忘れさせてくれます。

平 軍二

《お知らせ》

◆ すいた市民環境会議・幹事会は会員の皆様が参加しやすい組織体制を作るため、小委員
会での検討を始めました。

①「環境講座・学習・研修」委員会

◎高畠 ○秋山 菅原 石原 小室 佐藤 草野

②「生き物調査」委員会

◎平 ○小室 小田(信) 加藤(俊) 土志田

③「組織・財政・会員拡大」委員会

◎小田(信) ○熱田 喜田 中村 石田 *寺尾 *広村 *黒田

④「大木・散策みち運営」委員会

◎秋山 ○浅田 小田(忠) 中村 加藤(俊) 松岡

⑤「会報誌」委員会

◎秋山 ○西尾 事務局

◎=委員長 ○=副委員長 * =一般会員

大木と吹田の散策みち

吉志部みち

◆日時 9月26日(土) 9:30~12:00 ◆集合場所 JR岸辺駅改札口 ◆参加人数 26人

吉志部みちに参加して

西木 勲

吹田に移り住んで早くも1年が過ぎてしまったが、自分の住む町をまったくと言っていいほどに知らない状態である。今回で3回目の参加となった“吉志部みち”は、紫金山公園を含んだ散策とのことで、大変楽しみにしていました。

台風一過、すばらしい天候になるかと思いきや、曇り空で今にも雨が降りそうな雲行きでの出発となった。今回も多数の参加者でにぎやかに散策が始まった。

大光寺さんを過ぎたころより雨が降りだし、本格的な雨となってしまった。傘を差しての散策、吉志部神社でひと休みとなり、重要文化財の本殿を眺めながら奥田宮司のお話を伺うことができた。

宮司は大変お話し好きで、次から次へと話題が続き、幹事の終わりのサインも見落とし、話題も環境問題となり、聞かざるを得なくなった。この宮司環境保全の大切さを理解されておられ、小生のような生はんばな興味だけでなく、地球上の大切な物は何なのかをよく理解されておられ、また力を入れられておられる姿が話の中から伺えた。

今日はあいにくの雨であったが、温かく迎えていただいた宮司や関係者の方々に感謝致します。いろいろな所で地球の環境への取り組みが進められている姿があり、みんなで力を合わせようという気持が大きく動き出しているように思えた。また、いつの日か訪れてみたいと思います。

一緒に歩きませんか

千里緑地みち

日時 1月23日(土) 9:30~12:00

集合場所 阪急南千里駅改札出口

持ち物 水筒・双眼鏡

参加費 500円(保険ほか)



最近、すいた市民環境会議が発行した「すいたの古木・大木」という冊子を読んだ。吹田の古木・大木が 400本を超えるという内容に驚くと共に、これだけの広大な地域の調査を短期間に実施され記録された、メンバーの皆さんの労苦に心からの敬意と、最大の拍手をおくりたい。

現在まで、このように多くの古木・大木が伐採もされずに生き続けている事は、驚きである。この吹田の先人たちの思いに感謝したくなるのは私一人ではないと思う。

「この木は切るなよ！ 育てて守ってくれよ・・・」と、語り継がれて来たのであろうかその経過の長い時の中で、いろいろな民話も生まれたであろう。

また、この冊子をヒントにして、現在の地図、地形図と照合してみると驚くほどの先人の智慧と先見性に感嘆する。地震・台風・火災・水害・飢饉などにたいして見事なまでの植樹の様子が一部ではあるが知ることができる。

クスノキ	防火・防水（材は舟などの用材）・防腐剤／寺院・学校・文化施設に
アベマキ	防風・防砂・薪・炭材
アラカシ	防風・防砂／台地・砂地の多い地域
エノキ	目標・目印・一里塚／村の境界にも植えられた
イチョウ	防火・非常食／大切な文化施設には必ず植樹
ケヤキ	家具・建築用材／山地、斜面などには単一林ではなく複合林が
クヌギ・コナラ	薪・炭材／コナラは伐採しても切り株から発芽、成長が早い
ユーカリ	防腐剤・薬剤／木陰を提供してくれる
アカメヤナギ	築堤の補強
カスミザクラ	高所に生育、目印となる
クロマツ	防風・防砂
シノキ	防風・防砂・非常食
ムクノキ	研磨材
センダン	実＝薬剤 材＝ヨロイなどの用材

以上、簡単に記してみたが、その地域に適した植樹がされ、育成されて来たことが分かる。

先人たちの意志と目的で育て守られた樹木を見るとき、100年、200年先の自然環境を先見した人々の智慧に感心する。現在に生きる私たちは 100年先の環境を考える心の余裕も時間も無くしてしまったのだろうか・・・

吹田の町並みから竹林が消えて行くことに、寂しさと時代なのかなーと思いつつ、“ムクドリたちのお宿はどこだ”と心配もしている。

98年度会費納入者 (敬称略) '98.11.1現在

個人会員

石川 信行 木村 雅英 吉村 哲彦 天野 正子 古屋三千代 篠原 昌子
古賀 康之 伊藤 勝子

法人会員

(株)生物分子工学研究所 (株)大阪バイオサイエンス研究所 (株)井上昇商店・井上義信

一緒に歩きませんか・散策みち 報告/予告

第1回 「吹田村みち」 6月27日(土) 参加人数 20人
第2回 「山田みち」 7月25日(土) " 32人
第3回 「吉志部みち」 9月26日(土) " 26人

第4回 「北千里みち」 11月28日(土) 阪急・北千里駅改札口 am 9:30~12:00
第5回 「千里緑地みち」 1月23日(土) 阪急・南千里駅改札口 am 9:30~12:00
第6回 「江坂みち」 3月27日(土)

すいた市民環境会議の最近の活動

- ◆ 大木と吹田の散策みち実施
- ◆ 「生き物調査」実施
- ◆ 「ニッショー緑地公園店のマンション側斜面の樹種」提案
- ◆ 商工会議所50周年記念「環境シンポジウム」パネラー参加
- ◆ 行政主催「NPO(非営利・公益市民活動団体)の意見聴取の会」出席
- ◆ 「紫金山公園内コバノミツバツツジの復元」支援
- ◆ 環境審議会・審議委員出席
- ◆ 行政主催「環境講座/シティ・ナチュラリスト入門講座」支援
- ◆ 各公民館・出前講座実施/岸部公民館・片山公民館
- ◆ 吹田市緑化フェア参加
- ◆ 都市景観デザイン委員会・委員出席

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

すいた市民環境会議 入会受付中!

- ◆ 年会費 個人会員1000円/法人会員10000円
- ◆ 振り込み先 00980-3-28845 すいた市民環境会議